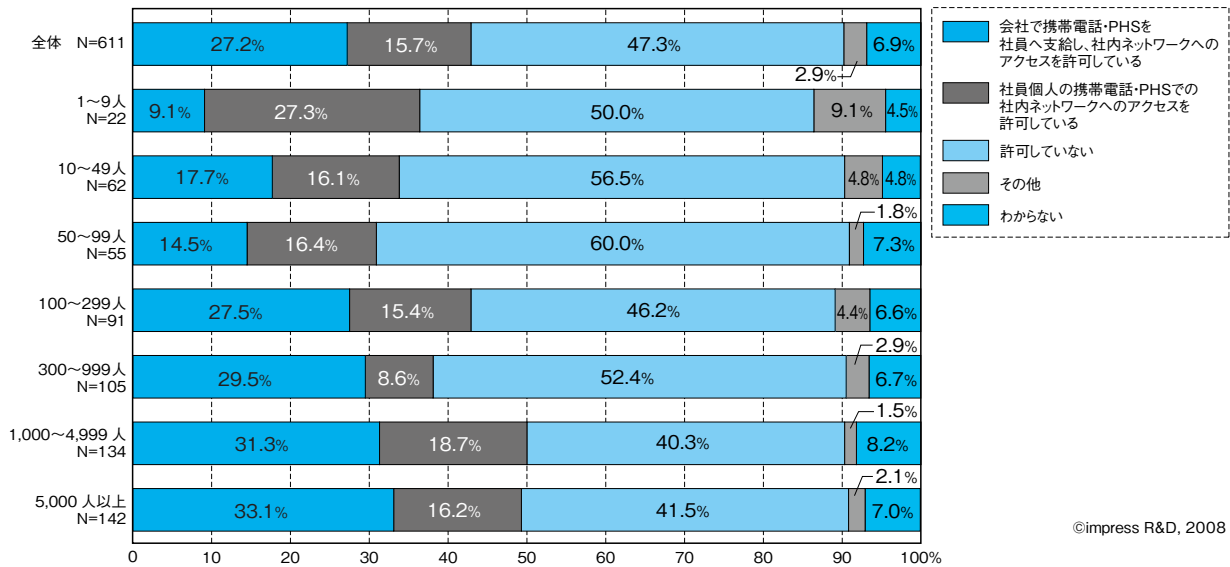


社内ネットワーク接続 / 通信コスト

■ 大企業ほど接続を許可している比率が高い

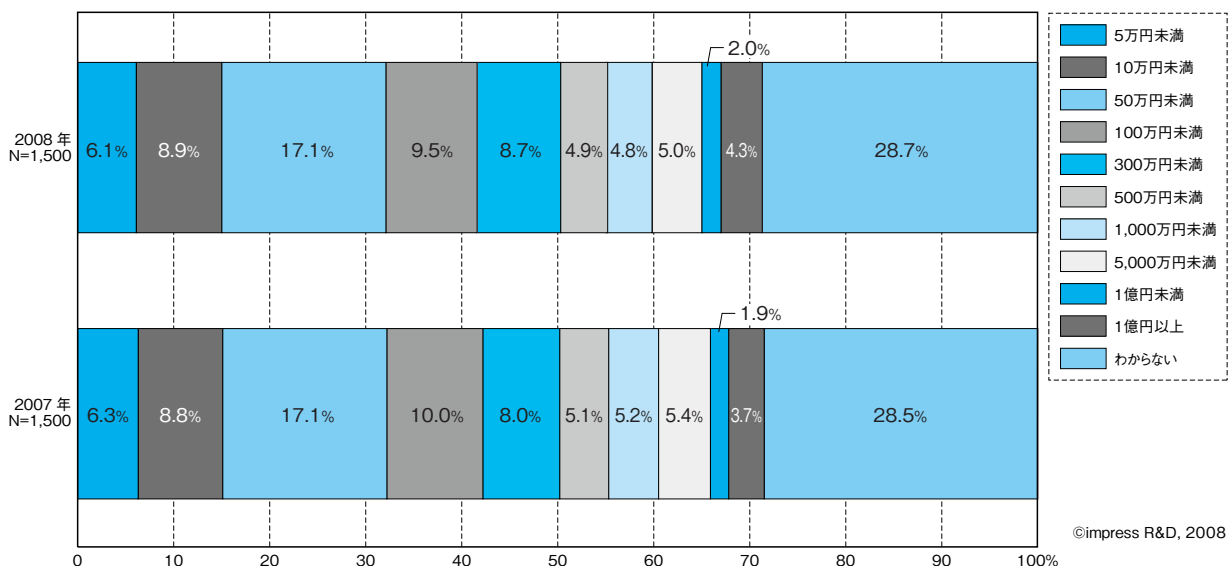
資料 7-8-19 携帯電話での社内ネットワークの接続許可状況[従業員規模別]



携帯電話での社内ネットワークの接続許可状況を従業員規模別にみると、規模が大きな企業では許可している比率は高く、1,000人以上の企業では5割にのぼる。規模の小さな企業では、支給された携帯電話・PHSに比べ社員個人の携帯電話・PHSでのアクセスを許可している比率が高い。

■ 3割の企業は年間の通信コストが50万円未満

資料 7-8-20 年間通信コスト[2007年・2008年]

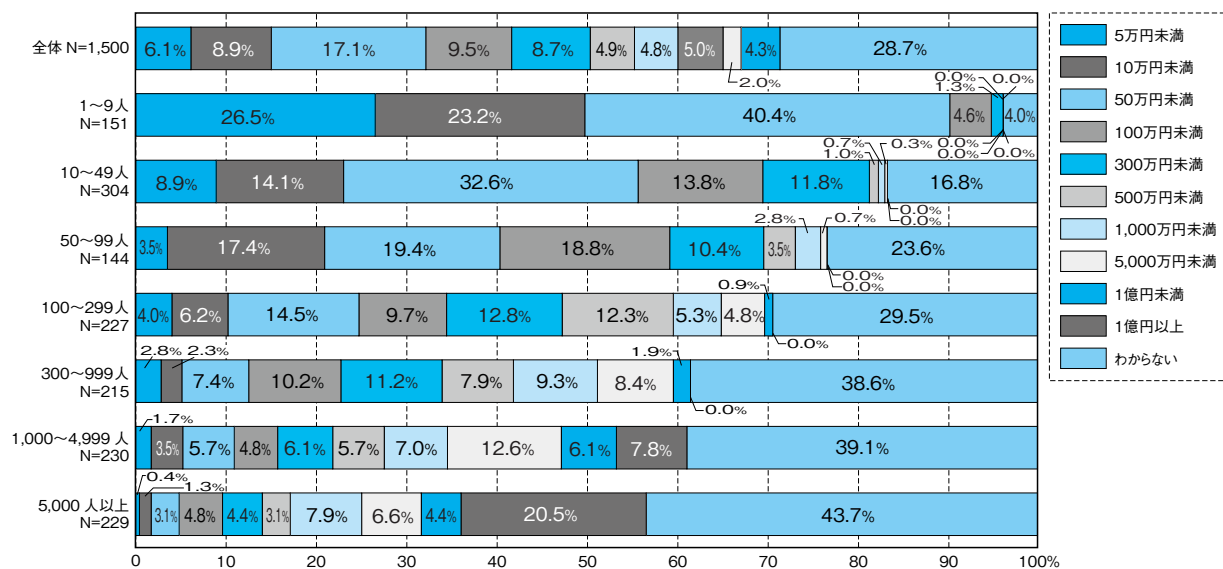


年間の通信コスト(固定電話通話料、携帯電話・PHSなどの移動体端末通話料、IP電話料金、インターネット接続回線料金を含む)をみると「50万円未満」が17.1%で最も高く、「100万円未満」が9.5%で続いている。50万円未満が3割強を占め、昨年と比較してもほとんど変化していない。

通信コスト

■ 年間コストは従業員規模に比例して増大

資料 7-8-21 年間通信コスト[従業員規模別]

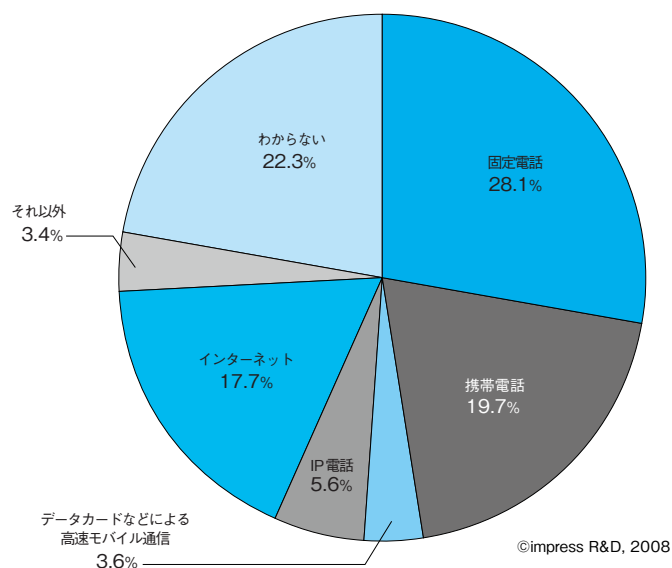


年間の通信コストを従業員規模別にみると、当然のことながら規模が大きな企業ほどコストは高くなる傾向にあり、5,000人以上の規模では「1億円以上」が20.5%となる。

©impress R&D, 2008

■ 音声通話に関するコストが約半数

資料 7-8-22 通信コストの内訳 N=1,500



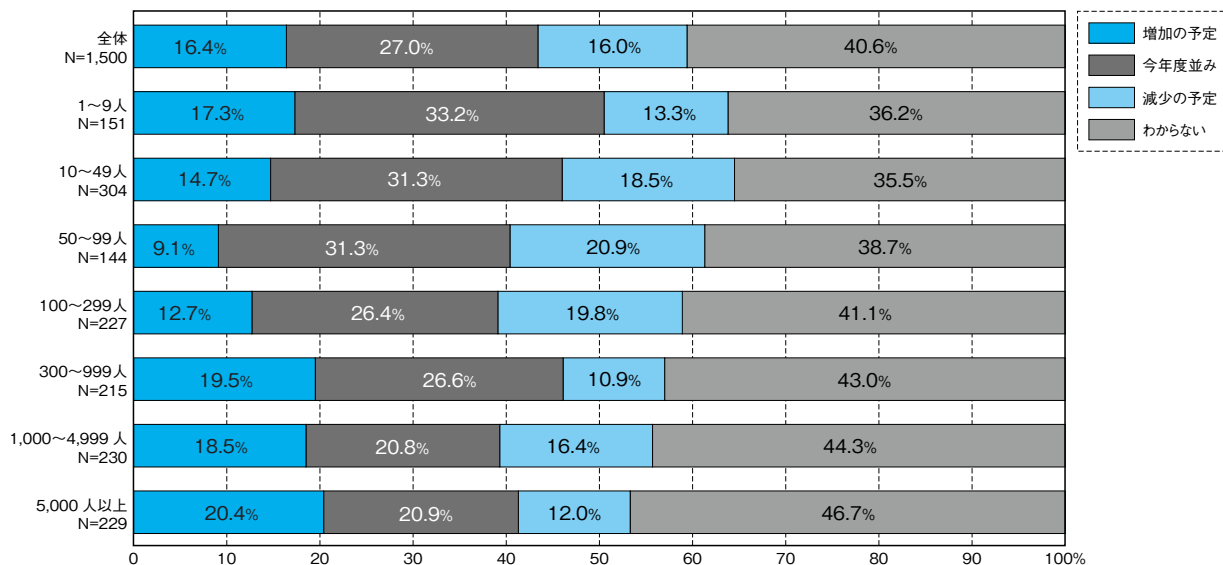
©impress R&D, 2008

年間の通信コストの内訳をみると、「固定電話」が28.1%で最も高く、「携帯電話」が19.7%で続く。IP電話を含め音声通話の比率がおおよそ半数となり、「インターネット」は17.7%となっている。

通信コスト

■ 次年度の通信コストは「今年度並み」が27.0%

資料 7-8-23 次年度の通信コストの予算増減見込み[従業員規模別]

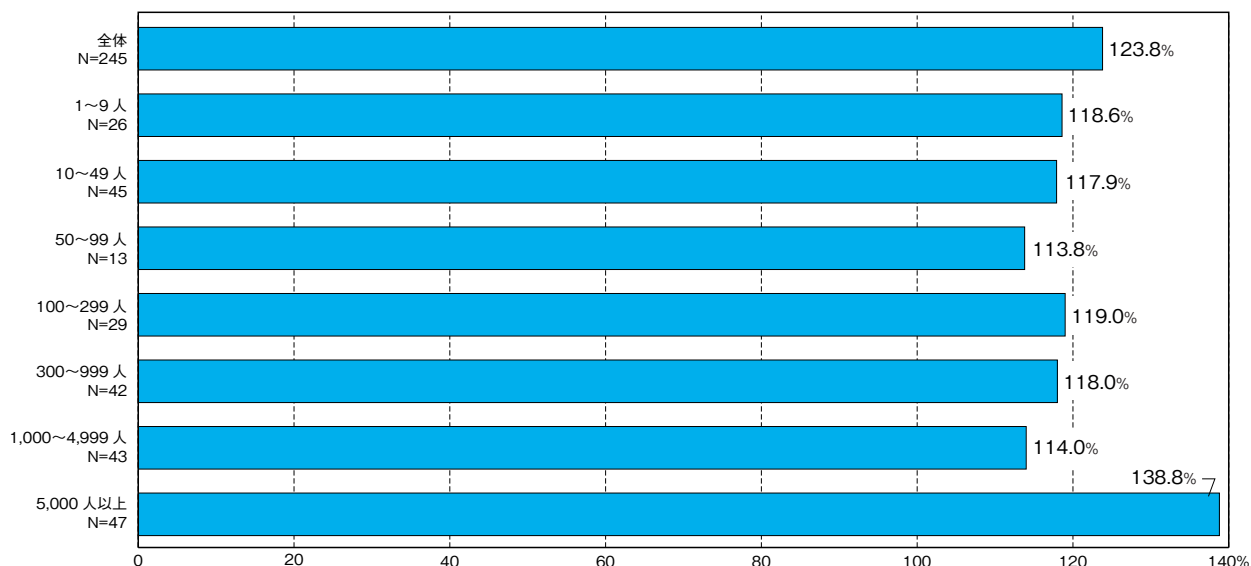


次年度の通信コストの予算増減見込みでは、「今年度並み」が27.0%で最も高く、増加予定と減少予定がほぼ同じ比率である。従業員規模別にみると、300人以上の規模では「増加の予定」が上回り、1～9人を除き、300人未満の規模では「減少の予定」が上回っている。

©impress R&D, 2008

■ 通信コストの平均増加率は123.8%

資料 7-8-24 通信コストが増加する場合の平均増加率[従業員規模別]



通信コストが増加すると回答した企業の平均増加率は123.8%となり、従業員規模別にみても5,000人以上の規模で138.8%とやや高いことを除き、規模別による大きな差異はみられない。

©impress R&D, 2008



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp